つながる すみだ人（びと）

私の好きな すみだ

今月の1枚
「秋の声」
【撮影】福田博さん



本コーナーへの写真を随時募集しています。詳細は区HPをご覧ください。
【問合せ】広報広聴担当☎5608－6223



長沼秀三さん（向島在住）

すみだを愛し、すみだで活躍する人をリレー形式で紹介する「つながる すみだ人」。お話を伺った方に次の方を紹介していただき、すみだを愛する人をつないでいきます。第73回は、向島で銭湯「薬師湯」を営み、小梅二丁目町会の青年会の事務局長として、地域の活動やイベントにも積極的に参加する長沼秀三さんです。

Q. すみだでどのような活動をしていますか？

銭湯「薬師湯」を営んでいます。23年前に両親から店を継いで、現在は受け付けから裏方まで、全ての業務に携わっています。毎日来てくれるお客さんにも楽しんでもらえるように、年間100種類以上の日替わり湯やイベントを用意しています。お客さんと話す機会も多く、常連さんとのやり取りから生まれたイベントのアイデアやグッズもあるんですよ。

また、小梅二丁目町会の青年会では、イベントの運営や月1回の夜間パトロールをしています。今は事務局長を務めていて、会計やイベントの仕入れ・案内状作成なども私の仕事です。地震や停電などの緊急時に集まって見回りすることもあり、そのようなときに、地域の方に安心してもらえたり感謝されたりすると、役に立てているんだと実感して、やりがいを感じますね。

Q. 現在の活動を始めたきっかけは何ですか？

もともと料理人として働いていたのですが、人手不足をきっかけに、父から薬師湯を継いでほしいと言われました。はじめは、料理人を続けたい気持ちもあったのですが、銭湯の業務に関わる中で少しずつ魅力を感じ、継ぐことを決意しました。趣味であるプロレスを取り入れたイベント風呂など、好きなことをできるのが魅力ですね。来てくれたお客さんが「楽しかったよ」「気持ち良かった」と言ってくれるのがうれしいです。

町会の青年会には、26年前に先輩に誘われて参加しました。青年会のメイン活動がお祭りなので、昔からお祭りが好きな私にはもってこいでしたね。墨田中学校の盆踊りと、牛嶋神社・秋葉神社の奉納踊りには毎年参加しています。青年会には10代～60代の幅広い年齢の人が参加していて、最近は墨田区出身ではない人も増えてきました。その人たちもすみだを好きになってくれて、一緒に活動を頑張っているところを見ると、地域の絆（きずな）を感じます。



◀毎年9月に行われる、牛嶋神社の祭礼の風景です。薬師湯の前を通る、小梅二丁目町会の神輿（みこし）。この時は、家族で神輿を担ぎました。





▶お客さんが楽しめるように、季節の果物を浮かべたお風呂や、一風変わったイベント風呂等を企画しています。

Q. 長沼さんは、すみだのどんなところが好きですか？

横のつながりが強いところが好きですね。近所の人が、薬師湯の店主である私のことだけでなく、家族のことも知っていてくれて、子どもの下校時には声を掛けてくれるので、地域全体に見守られているような安心感があります。東京スカイツリー®が完成してから、まちも人も、昔とは大きく変わりましたが、新しさを受け入れる姿勢もいいですよね。これからも、人のつながりが強く、お祭りをはじめとした地域のイベントが盛んな、すみだの下町らしさを残していきたいです。そして、これから墨田区に住む人にも、気兼ねなくイベントや活動に参加してもらえるような、温かい地域づくりをしたいと思っています。

次回登場してくださるのは・・・

長沼さんと同じく小梅二丁目町会で活動し、青年会の会長を務めている田代幸司さんです。
【問合せ】広報広聴担当
☎5608－6223



夢

すみだ北斎美術館10周年！小布施町との協定は30周年！

墨田区長
山本　亨

すみだ北斎美術館（亀沢2－7－2）は、平成28年11月22日に葛飾北斎の生誕地である墨田区に開館し、まもなく10周年の大きな節目を迎えます。この日を迎えられるのは、これまで国内外から訪れた150万人を超える来館者の皆さんや、いつも温かく支えてくれる関係者の皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。

現在、開館10周年記念 特別展「ベスト オブ すみだ北斎美術館〝隅田川両岸景色図巻と名品〟」を11月23日まで開催中です。正に10年間の集大成となる本展では、過去に展示した馴染み深い名品の数々に加え、未公開の作品や新規収蔵作品など、至高のコレクションを一挙に公開しています。代表作である「隅田川両岸景色図巻」や「冨嶽三十六景 神奈川沖浪裏」など、北斎とその門人たちの圧倒的な画力と類い稀（まれ）なる発想力で描かれた名品の数々を堪能（たんのう）するとともに、作品との新たな出会いをぜひ楽しんでください。展示の見所は、次号8面でも紹介する予定です。

さて、北斎が晩年を過ごした長野県上高井郡小布施町と墨田区は、北斎をきっかけとして平成8年に「友好協力協定」を締結しました。以来、都市農村交流事業や修学旅行での伝統工芸体験、すみだまつりへの出展など、幅広い分野で交流を深めてきました。そして、協定締結から30周年となる今年、今後もお互いの住民が交流し、持続的な発展・親善を図ることを目指して、10月3日に開催した「すみだまつり・こどもまつり」オープニングステージで、協定を再締結しました。これまで築いてきた絆（きずな）を大切にしながら交流の輪を更に広げ、お互いの発展に向けて幅広く連携していきますので、ご期待ください。



友好協力協定の再締結で区を訪れた小布施町の大宮町長と